

和泉市議会議員

山本秀明

市
政
だより

第71号

令和6年3月

和泉市青葉台2丁目8-34

TEL/FAX

0725-57-0034

E-mail

h.yamamoto329@icloud.com



「政治に求められるものは実績と成果」を信条に、活動してきた結果、公約に掲げていた能力実績主義に基づいた人事給与制度改革、学校体育館への空調整備、市営住宅の集約立替等、着実に進める事が出来ました。今後も和泉市に必要な取り組みを提案し、実現できるよう積極的に活動してまいります。

皆様のご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。

現役職

明政会（市議会会派）

厚生文教常任委員会

自民党大阪府連

大阪府看護連盟地方議員の会

和泉市少年野球協会

ボーイスカウト和泉第2団

和泉市軟式野球連盟

代表

委員長

副幹事長

幹事長

会長

育成会長

顧問

和泉市総合医療センターが開設した平成30年当初は、常勤医師数83名、診療科目33診療科、1日の平均外来患者数850人でしたが、令和5年には、常勤医師数131名、診療科目35診療科、1日の平均外来患者数1,058人と大きく増加し、今のスペースでは十分な医療サービスが提供できなくなる可能性があることから、地上7階建ての増築棟を、本館東側に建設することになりました。

増築により拡充される医療内容は、診察室の増室（46→70）、待合スペースの拡張、HCU24床の新設、救急診察室の増設（3→7）、感染病棟の新設、透析用ベッドの増床（12→30）、がんセンター診察室の増設（4→8）、化学療法用ベッドの増床（17→30）で、医療体制の強化と患者へのサービス向上を図ります。

また、増築費用については、約40億円必要となる見込みで、本来市は半分負担することになっていま



すが、指定管理者（徳洲会）から「これまで得た収益を地域に還元したい」との申し出があり、全額指定管理者が負担することになり、市の費用負担はありません。増築後は、建設物を市が寄付として、採納することとなります。

和泉市総合医療センター
医療体制の強化サービス向上のため増築
建設費（約40億）は指定管理者が全額負担



盛山文部科学大臣に教育現場の問題点を訴える

自治体のDX化について河野デジタル大臣と懇談。大臣の要請を受け、市のDX化に向けた一般質問を行う。



地方の声を国政に



自民党刷新に向けた市町村議員からの意見・提言書を議員連盟を代表して小淵優子組織本部長に提出



石破茂元地方創生大臣と大阪の政治情勢について意見交換



青少年の健全育成の場である、少年野球協会の会長として活動新球場設置に向け（仮称）北部総合スポーツセンターを整備進めます

子どもの健全育成



ボーイスカウト育成会長として、スカウト活動に参画自然の中で、楽しみながら成長を促すスカウト活動を応援しています。

公約実現 令和6年度より本格実施
能力実績主義の
人事・給与制度

選挙公約にも掲げ、幾度となく市と議論を重ねてきた、「年功序列から能力実績主義へ人事給与改革」が令和6年度より本格実施されることになってきました。

本改革での最大の取り組みは、上司の給与よりも、部下の給与が多くなる逆転現象をなくすため、役職等級の重なりのない新給与表の導入で、令和6年度より実施されます。これにより役職が上がらなくても年功により給与が上がっていた公務員給与の常識が覆され、年齢に関係なく頑張った職員が正当な対価を獲得することが可能になります。

また、一部メディアで取り上げられた「日本一の初任給」も、有能な人材確保の観点で導入されますが、本給与制度改革により、総人件費の増額にならないよう制度改革全体で増減のメリハリをつけていきます。

人事制度改革においては、人材育成方針の改訂や、職員採用試験、昇任制度、人事異動方針の見直しがおこなわれ、人事評価制度においても、より公平で公正な制度構築のため、評価結果及び目標設定調整会議の導入や、多面評価等も本年度より取り組みが行われています。

本市の人事給与制度改革は、全国でも例を見ない取り組みとされていますが、目的は、「職員の能力向上、組織の活性化」です。この成果を上げられるよう、今後も検証し改善すべきものは、提言を行ってまいります。



一般質問

令和5年6月

競争原理が低下している市の入札について



【山本】入札における、参加業者数の確保は、価格競争を促すために重要である。近年、入札の参加業者数が減少しているにも拘らず、市の要綱で、物品入札の指名数を減らす対策も含め、参加業者数を確保する対策を講じるべき。

【総務部長】入札辞退理由を掌握し、一定対策を講じているが、議員指摘の通り成果には繋がっていない。引き続きの要因分析と、登録業者数を増やす努力が必要と考える。

【山本】過日の入札案件で、参加2者のうち書類不備で1者が失格し、その後随意契約で、残る1者と契約を交わした案件があったが、なぜ、再入札を行わなかったのか。又、随意契約は二者以上の見積りを取ったの

【総務部長】納期の変更ができない理由から随意契約とした。見積もりは当該者のみ。【山本】私の認識では、納期に間に合わない等の主観的な緊

令和5年9月

中部地域(はつが野地区)の保育、保育園児への対策を



策を検討していく。【山本】保育定員増や保育士確保の対策は、効果が出るのに時間を要する。保育認定を受けながら希望園に入所できず、やむなく高額な認可外施設に入所させている保護者に対し、公平

令和5年12月

市役所窓口のDX化について



【山本】本市のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進の方針を示された。

【市長公室長】市民サービスの拡充として、スマホによるオンライン申請を段階的に拡充している。また、職員の負担軽減を目的に、業務の「フルデジタル化」を今後進めていく。

【山本】DXとIT化の違いは、DXが「目的」でIT化が「手段」である。DXを推進する上で重要なことは、業務効率や市民の利便性向上といった、目的や効果を明確に定めること。そのために必要な、組織や業務プロセスの改革に繋げることで、積極的に進めたい。次に、市役所窓口サービスのDX

性の観点から新たな補助制度が必要と考えるが市の見解は。【子ども部長】認可保育施設に通園する児童との負担の公平性の観点に配慮しつつ、どのような補助制度が効果的か検討を行う。

【山本】何れも早期に実現するよう要望する。

【市長公室長】ワンストップサービスの「おくやみコーナー」は十月に設置したが、基本は来庁者の申請手続きは、紙の申請書に書き添えて記載している。

【山本】デジタル庁が進める「書かないワンストップ窓口」事業は、マイナンバーカードや、免許書やマイナンバーカードにより各種申請を自動作成する機能や、手続きや手順をナビゲートする機能もあり、来庁した市民へのサービス向上、職員の事務負担軽減にも効果がある。また、事業費の半分を国で補助してもらえ。是非、事業導入をご検討頂き、次年度での予算化を要望する。

「政治に求められるものは結果と成果」政策実現力№1

議会質問・議員活動を通じ提言、協議していた政策・事業を令和6年度予算で実現

自身の政策や市政改革を実現するためには、一般質問等で一方的に自己の考えを主張するだけでは実現できません。私は「政治に求められるものは結果と成果」との考えから、議会質問の中で要請、提言した政策や行政改革を着実に実現する為に、日々役所の中で、理事者や市職員とその必要性について議論しています。その結果、私の提言していた多くの事業が令和6年度で予算化され、実現に向けて進められることとなりました。主な内容は次の通りです。

「書かない窓口」デジタルトランスフォーメーション推進事業を実現 (9,689万2千円)

令和5年12月議会一般質問で、市役所のDX(デジタルトランスフォーメーション)化の重要性と、デジタル庁から半分補助金が出る「書かないワンストップ窓口」導入について提言し、議論を重ねた結果、市民が申請書に記載することなく申請書類を取得できる、「書かないワンストップ窓口」システムの導入と、事務の流れをフルデジタル化に向けた制度設計をするための予算が計上されました。

認可外保育施設利用者への保育料補助を実現 (240万円)

令和5年9月議会一般質問で、保育所への入所資格がありながら入所できない保育児童が、令和5年4月時点で305名いることを指摘し、仕方なく高額な認可外保育施設に通う保護者に対し、保育料の補助制度を公平性の観点から創設すべきと提言し、協議を重ねた結果、本年度より保育料の2分の1(上限 月額2万円)を補助する認可外保育施設利用者負担軽減補助制度が府内の自治体で初めて創設されました。

北部総合スポーツセンター基本構想策定を実現 (2,000万円)

Sゾーン計画の計画変更に伴い、凍結されてきたスポーツ施設整備計画を復活推進する為に、懸案であった設置場所や、財源についての議論を議会質問などで続けてきた結果、旧東北水道施設組合跡地に、(仮称)北部総合スポーツセンターを整備する方針を示されると共に、本年度に基本構想策定の予算が計上されました。

松尾山農道の市道化事業の実現 (2,480万円)

鍋谷トンネルの開通により、外環状線から光明池春木線への交通量が増大したことから、松尾山農道を市道化することにより、幹線道路として整備していくべきと、議会質問、会派要望を重ねた結果、本年度より松尾山農道の市道化に向けた予算が計上されました。

尚、現道のままである青葉台へ交通が流れ込むことから、光明池春木線へのアプローチ道路を整備するよう、強く要請し協議しています。

小中学校体育館の空調整備を実現 (14億136万円)

災害時の避難所機能も有する、小中学校体育館の空調整備を国の補助制度(緊急防災減災対策債70%交付税措置)を活用し整備すべきと、議会質問、会派要望を重ねた結果、令和7年度までに全ての学校体育館の空調整備を行うこととなりました。本年度予算では小中11校の整備工事と、残る5校の設計予算、併せて特別教室、給食室の空調整備、非構造部材耐震工事が計上されました。各学校の工事時期は別表のとおりです。

工事予定 R5-6	小学校 (11)	国府(※)、伯太、和氣、芦部、北池田、鶴山台南、北松尾緑ヶ丘(※)、青葉はつが野、光明台北、光明台南
	中学校 (1)	信太
工事予定 R6-7	小学校 (5)	黒島、いぶき野(※)、信太、鶴山台北、南池田(※)
	中学校 (6)	和泉、郷荘、北池田、石尾、南池田、光明台
	義務教育学校 (1)	南松尾はつが野

※体育館非構造部材耐震工等改修工事も実施

保育士確保に向け保育士就職支援補助金の拡充を実現 (3,500万円)

令和5年9月議会一般質問で、保育児童が増えた原因として、保育士不足により定員割れの保育園が多くなったとの市の分析に対し、現在ある保育士確保の補助制度が成果を上げていないことを指摘し、制度内容の拡充を提言したことにより、本年度からは保育士就職支援補助金の補助対象者の拡大や、補助期間の延長など、補助制度の拡充を実現しました。

はつが野4.5.6丁目の老人集会所整備を実現 (1,000万円)

令和4年12月議会一般質問、令和5年大綱質疑で、街開きも終え、住民の入居が進んでいるはつが野4・5・6丁目のコミュニティの場として、老人集会所の早期設置について議論し要請してきた結果、本年度に設計予算が計上され、令和7年度には完成に向け建設工事が行われます。

松尾寺公園整備事業費を拡充 (1億8,456万円)

整備が進まない松尾寺公園に対し、市民が魅力を感じる整備方針定めると共に、パークPFI等民間活力を導入し、整備スピードを上げるべきと、議会質問や協議を進めた結果、本年度予算で、前年比約6.6倍の予算が計上され、園路整備と併せて、東部エリアの基本計画策定等、松尾寺公園整備事業を拡充する事ができました。